

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ

No.1778 長期継続特殊前兆

統報 No. 184

2016.11/23 (水) 15:00 JST

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

卷之三

11/19和歌山南部M5.4・11/22福島沖M7.4共に前兆検知成功

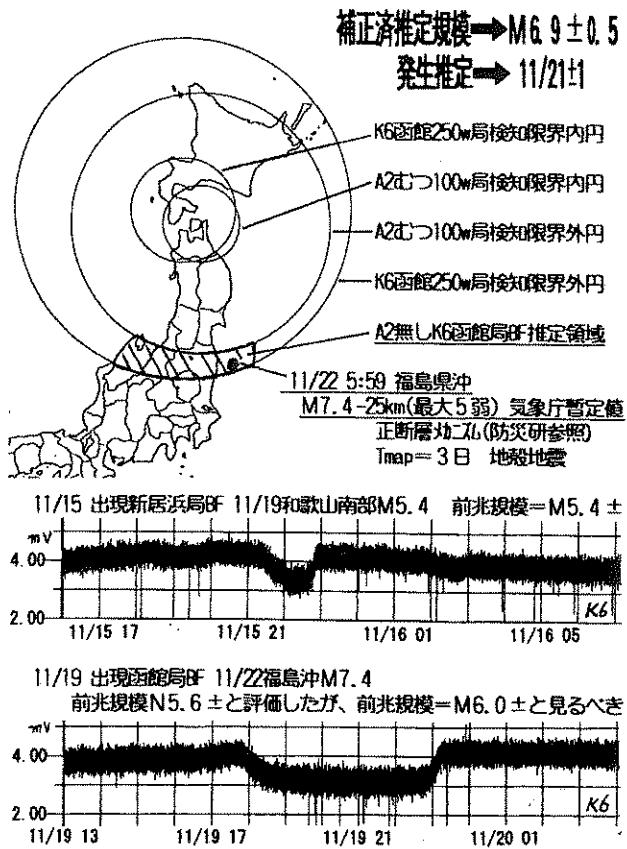
本HPは2008年から継続出現する観測歴上最長継続前兆Na1778に限ってPHP新書「地震予報」読者の皆様への統報として公開報告しており、他の地震前兆に関しては、E-mail及びFAXで日々配信しております「地震前兆検知観測情報」のみで、HPでは公開しておりません。今回規模の大きな地震が発生致しましたので、その地震前兆も検知成功であったことを参考までに報告させて戴きます。Na1778前兆統報は後半を参照下さい。

10月17～18日に高知観測点のK6に伊豆100w局によるBFを観測し、 $T_{map}=3$ 日となる10月20日に千葉北東部M5.3が対応地震として発生後、No.1778前兆以外の検知可能地震の前兆は観測されておりませんでした。

約一月ぶりとなる11月15日、高知観測点のM6に伊豆局とは逆局のBF前兆が観測されました。右下波形参照。このBFは伊豆局とは逆局の函館250w局又は新居浜100w局・延岡100w局による地震前兆です。函館局250wによるBF前兆はより長い変動で、秋田観測点のA2むつ局にもBF出現がなく、新居浜又は延岡によるBFと判断。M5.3～M5.4評価。 $T_{map} = 4$ 日となるルート境界型地震の通常 $T_{map} = 5$ 日±の誤差内である11月19日に、新居浜及び延岡両局からのBF検知領域である和歌山南部でM5.4ルート境界型地震発生。

統く11月19日、右下波形のとおり、高知観測点のOK6に再び、函館局又は新居浜局・延岡局側のBF前兆を観測。前回より変動時間が長く、函館局による過去BF前兆と同型。但し宮城～岩手領域では同時期に出現する秋田観測点のA2IにはBF前兆無し。一応11月21日±1 又は11月24日±2 発生の可能性として、陸域ではM5.6±0.5 海域では海深補正等必要(200~500m 海深減衰= -M1.3 正断層減衰= -M0.5 から推定規模=M6.9±0.5) を11月20日に報告。BF前兆規模評価はM0.2~0.5 小さかった様です。

函館局によるBFの可能性大と見ていましたが、A2に前兆が無いことが不明でした。右上図のとおり、A2に前兆が無い=A2検知外限界の外であり、K6函館局からの検知領域内である領域は福島付近の東西に細長い領域のみと絞られます。(北海道東方沖領域も同様ですが、その場合は他の秋田観測点観測装置に前兆出現があるため、今回は否定された) その狭い領域内である福島県沖でM7.4-25km(気象庁暫定値)が発生。正断層の地殻地震でした。今回は福島東方沖の海域下が震源が最大震度5弱で済みましたが、仮に陸域で発生していた場合は、最大震度6強~7であった可能性もあります。尤も陸域では前兆も大きく観測された筈です。今回の福島沖の震央域では、通常K6には伊豆局側BFも出現して良い筈ですが、今回は出現無し。原因は不明です。M7.4の地殻地震は近年では最大規模と思われます。地



殻地震であるため小規模の余震が多いと思われます。東北太平洋沖地震発生によって東北地方太平洋側は特に東側に引っ張られる動きをしており、今回の様な正断層地殻地震は岩手・宮城・福島・茨城でも、今後発生する可能性が否定できません。全て前兆検知可能と思われますので、注意して観測を続けます。Na1778前兆以外についてはHPでは公開しておりませんが、検知可能中規模以上地震の前兆検知は成功しておりますことを参考までに記させて戴きました。

No.1778 長期継続前兆現況 岐阜～福井～石川等領域大型地殻地震推定前兆

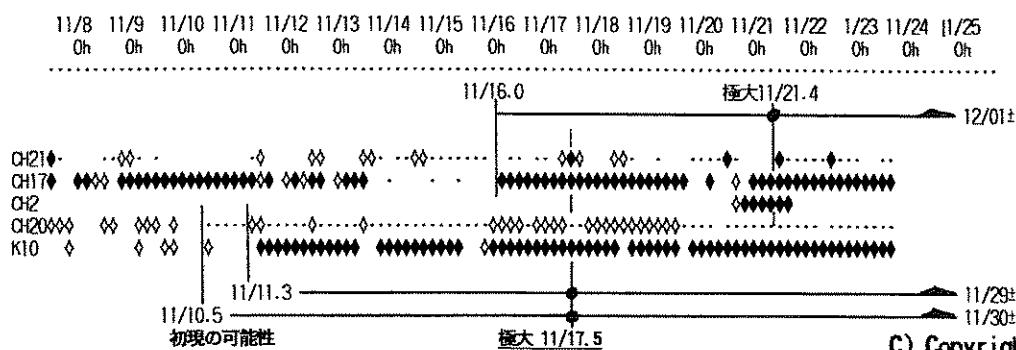
【STAGE-20】

Stage-20 が示した時期 11/17

[STAGE-21]

Stage-21 極大 11/17

11月30日±1 を示す



No.1778長期継続前兆は現在第21ステージ認識です。11/17.5 極大認識のあと、11/20~21にかけハケ岳のCH021に特異出現。11/21.2or21.4に極大認識ができます。CH17特異顕著化出現を初現としますと、12/1±を示します。11月30日±1 を示す全体の動きに見えます。

現在顕著な前兆が継続出現しているのはCH17とK10。仮に11月30日発生となる場合は、 $T_{pp} = 2$ 日程度ですので、今後極大が出現しない限りは11月28日頃終息の可能性有。